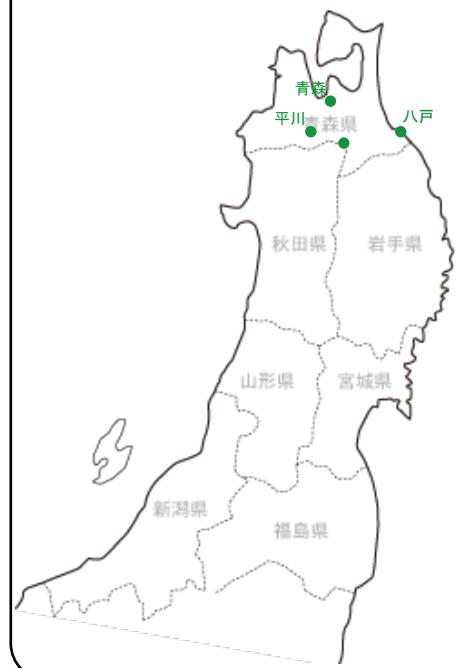


東北教育旅行プログラム（青森）活用コース ～縄文文化と農村生活体験にて「生きる力」を学ぶ～

日次	行程				宿泊
1	12:00着 各地□■□■ 八戸駅 → (15分) → 八戸食品センター(昼食) → (20分) → 是川縄文館プログラム → 八戸市内	12:15/13:15 	13:45/16:45 ※下記①参照 3時間	17:00頃	青森県 八戸市内
2	8:30 八戸市内 → (120分) → 十和田湖畔(遊覧船/昼食) → (70分) → 平川市農村生活体験	10:30/12:30 13:40～			青森県 平川市 (民泊)
3	~11:00 平川市農村生活体験 → (50分) → 青森観光物産館アスピア (買い物/昼食) → (5分) → ねぶたの家・ワラッセ (見学) → (15分) → 新青森駅□■□■ 各地	11:50/13:20 14:25頃	13:25/14:10 		

(凡例) ··· : 徒歩 ■□■□ : JR == : バス ~~~ : 船舶 --- : 航空機

東北ルートマップ



① 「是川縄文館プログラム」



是川縄文館では、是川遺跡、風張1遺跡とその国宝・重要文化財となっている出土品を通して、縄文人たちの知恵や技、祈りを感じてもらい、学校教育などで知識を広げることの喜びや、命を敬い、これから日本の社会を担っていくことの大切さを伝えます。是川に住んでいた縄文人たちは、知恵と技を磨き、身のまわりの自然を管理して最大限活用して暮らしていました。その中で生まれたモノづくりの文化は、縄文時代一万年の中でも成熟した地域文化として知られています。